



おやこで雪あそび

保護者会主催の親子雪遊びは、子供たちが、楽しく安全に雪遊びが出来るお手伝いとして、毎年続いている行事です。

この日は、子供たちがさらに遊べるソリコース作りとなりました。ジャンプ台付きコースと、学校側斜面を利用した長いコースに、子供たちは早速夢中、何度も滑っていました。迷路は雪が少ないため、短いものに。私は雪のテーブルと椅子を作成。みんなで楽しく汗をかきました。最後に、雪山に登る宝探し。年少さんも、学校側斜面をがしがし登って、おやつを手にとり降りてきました。さすが美麻っ子！

また、園裏手の除雪を、保護者北村さんが除雪機持参でやって下さり、屋根下には子供たちが絶対入らないように、先生方がしっかり紐を張ってくれています。

さて我が家は、上の子と合わせて8年間お世話になった保育園とももうすぐお別れ、美麻コミュニティスクールへ入学です。この経験を活かし、地域のために出来ることがあれば、と思う日々です。

(保護者会 鈴木幸)



地域で学ぼう！コミュニティ・スクール

みんなでつくるコミュニティスクール ④



コミュニティスクール学習会を開催（1月31日：ほかほかランド美遊）

学習会参加報告

「コミュニティ・スクールを豊かにするために」という演題で文部科学省コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）の岸裕司先生にご講演いただきました。先生はコミュニティ・スクール先進校である習志野市立秋津小学校でコミュニティ・スクールコーディネーターとして活動されており、美麻における私たちの今後に役立つ大切なヒントをたくさん分けてくださいました。先生の講演は大変心あたたまり、わかりやすいものでしたので、今まで「コミュニティ・スクール」という言葉を見聞きする度にその意味や意義を理解しきれず不安を感じていた方も、きっと未来の明るい可能性を想像していただけたと思います。

後半のシンポジウムではグループに分かれて議論がおこなわれました。参加者からは美麻地区の実情も考慮しつつ率直で熱のこもった意見が多数出され、有意義な機会となりました。

コミュニティ・スクール指定に向けて、これからも見えてくる課題があれば時間をかけて丁寧に解決してゆくことによって、日本一幸せな地域となれ

る（大袈裟？）将来像に、今までよりも一歩近づけた気がする学習会となりました。（PTA）

シンポジウムに参加して

学校では、地域の皆さんが教えてくれたらどんなにいいかと思う場面がたくさんあります。そんなとき、美麻では今までたくさんの方が学校に来て関わってくれました。こんなこと無理かなと思うこともやっただけでした。活動の幅が広がって、子どもたちの学ぶ姿も違います。シンポジウムでの岸先生のお話は、学校を基点にして地域を活性化して行こうという話だったと思いますが、まさに美麻にぴったりのお話だと思いました。

学校を地域の皆様と一緒に運営していけば、学校職員だけでは気づかないことをきっと指摘してくれる。地域の方が積極的に学校に来てできることをやってくれ、それが楽しみで、生きがいになればどんなに素晴らしいか。子どもたちと接していると本当に元気をもらえますから。そんな学校がいよいよ来年から始まるのです。とてもわくわくします。（美麻小中学校 高橋文男）

地域づくり講演会

信州の夢を乗せて宇宙へ



鹿島槍上空に人工衛星



信州大学が人工衛星を開発して2月28日に打ち上げることは新聞やテレビで知っている人が多いと思います。長野県で人工衛星は初めてです。

その開発主任者「中島先生」の講演会が、地域づくり会議の主催で、大雪がまだ残る2月16日に美麻公民館でありました。プロジェクターの、最初の画面は、見慣れた鹿島槍ヶ岳の上空にキラキラ輝く星（衛星）でした。



普通の衛星は太陽光線で見えるので、相当大きくないと見えないのですが、この衛星は自分で光を出すので、40cmの超小型でも肉眼で見えるそうです。

電波は混み合っているのに、割り当てのいらぬ光を使って

情報伝達する手段を研究するそうです。手作りの懐中電灯のような装置で、「光が声として伝わる」ことを実感した参加者は興奮していました。

「1年くらいで運用を終了（落下）し、宇宙ゴミにはしない。」「長野県の多くの協力者（企業の技術提供も）で作った。」「打ち上げ経費は無料（審査に合格したから）。」だそうです。

愛称は「ぎんれい」ですが、名付け親（6人だそうです）の両親が、市内社地区から参加しました。

中島先生は、以前美麻中学生の保護者（山村留学）で、その縁で実現しました。美麻の身近に、「こんな大きなことをしている人がいる」ことに、感動しました。

「信大のぎんれいHP」で通過時間は判るそうですから、写真撮影に挑戦してはいかがでしょうか。（伊藤勝雄）



人工衛星に設置された32個のLEDから、地上に通信用可視光線が送られるそうです。

コミュニティールームができました。

小中学校2階の放送室横に学校運営協議会の事務所やボランティアの集まれる場所となるコミュニティールームができました。お気軽にお立ち寄り下さい。





小学生全員が参加してアルペンスキー教室が爺ヶ岳スキー場で1月28日に行われました。途中から風が強くなりましたが、1日を通して良いコンディションの中で終わることができました。初級から上級まで6班に分かれて講習を行いました。1日の講習でみるみる上達した子供が多かったように思います。

スキー教室を終えて

僕のコーチは見た目は少し怖かったですが、すごく体を気遣ってくれました。普通は「スキーはこうあるべきだ」と言って一日中細かい指導で終わり、楽しい思い出はあまりなかったのですが、今日のコーチは自由に滑らせてくれ、時には優しく指導してくれる僕にとっては理想のコーチで本当に

楽しめました。今年はあまり疲れなかったのも少し上手くなれたのかなと思いました。
(6年 間藤恵志)

やっター！1級合格

ぼくたちは、爺ヶ岳スキー場へスキー教室に行きました。教室ではコーチに平行などを教わりました。ぼくは八方のスクールに2日入りスキーの基礎を学んでいたのうまくすべれたと思います。学校の検定では1級に合格しました。うれしかったです。ぼくはスキーが好きなのでもっと練習してうまくなりたいです。
(5年 村越隆也)

美麻地区社会福祉協議会 地域サポーター 養成講座を開催



美麻地区社会福祉協議会と大町市地域包括支援センターが共催で、地域の高齢者を支えるボランティアについての勉強会を1月23日(木)に総合福祉センター梨嶺で開催しました。

この日は、地域の福祉関係者など20人が参加して、前半は、市の福祉サービスについて勉強し、後半はグループに分かれて、「老後の困ったに備える」として、地域で困っていることなどを出し合いながら、高齢化の進む地域に必要な福祉サービスについての意見交換をしました。

中学生クロスカントリー記録会



今年初めてクロスカントリースキーの記録会を行いました。最初はとても緊張していてスピードが出せませんでしたが、後半になると少し慣れてきてスピードも出せるようになりました。下り坂も転ばないでスピードを出して滑ることができましたが、上り坂はとても大変で疲れてしまい、どんどん抜かれてしまいました。でも、最後の上り坂が終わるとまた勢いが出てきて、何人が抜いてゴールすることができました。来年は6位以内に入れるようにがんばりたいです。(7年 ウエバー伊織)

僕は、去年の反省から平地と登り坂を速く滑れるように体育の授業で練習をしました。本番では練習の成果が出て、いい滑りができ、良い結果が出ました。ソチオリンピックでは渡部暁斗選手が銀メダルをとり、自分も来年はあんな滑りができるといいなと思いました。

オリンピックで使用されたコースで良いタイムが出せてとても良い体験になりました。(8年 大塚歩夢)

今年で3回目の記録会で、前回よりもいい記録が出せるようにがんばって練習してきました。しかし、本番では前の人を抜かず技術が足りなく、下り坂で抜かそうとした時に2回転んで頭を強く打ってしまい、かなり苦戦してしまいました。クロススキーは滑るだけでなく多くの技術が必要だと思ったのでもっと追求していきたいと思いました。(9年 稲垣啓佑)

ベトナムからお客様

HUYさん、日本の本やアニメを翻訳しているお母さんVANさん、F1格闘技をしているという10歳のCHIさんと7歳のOHUONGちゃんの4人家族。日本との縁が深く、ご両親の希望でぜひ日本の子供たちと交流し日本の文化を知りたい、また初めての雪を楽しみたいとのお願いで5年生のクラスを訪問。まずは1時間目ベトナムについてお父さんが話し、ベトナムの羽根つきや手作りのはんこ、お金を皆さんにプレゼント。その後クロスカントリースキーを一緒に体験。ローラースケートをやっていると言うだけあって、二人の娘さんたちはすぐにうまくなってクラスのみんなどと楽しみました。数学の授業を受けたり、カルタで遊んだり、最後を給食を一緒に食べ、とても楽しかったそうです。

HUYさんは「美麻の生徒はとってもしっかりしていて、優しくてすぐに仲良くなってくれて素晴らしい。担任の小林先生についても楽しくていい先生」「ベトナムに帰ったら長野や美麻の紹介をしたい」と話しておられました。

ベトナムのホーチミン市からこられたHUYさん一家が2月3日、5年生と交流しました。

HUYさん一家は、日本語通訳のお父さん



そば打ち体験で伝統食を学ぶ

中学生全員が参加したそばうち体験が1月28日（火）に行われました。

この日は、地域から種山博茂さん、伊藤美智子さん、佐藤京子さん、松下京子さん、内田宏美さんの5人を講師迎え、そば粉を「こねる」ところから「ゆでる」ところまで一人ひとりに丁寧に教えていただきました。

初参加の7年生は、さすがに時間がかかりましたが、9年生はさすがに3回目だったので全員が手際よくそばを打つことができました。



僕は麺類が好きなので、1年に1回のこの機会をととても楽しみにしていました。

3年目の今年は今までの2年間の経験から順序も覚えていて、種山さんの見本を参考に少しでも手際良く打てたと思います。講師の方や先生方に褒められたので嬉しかったです。今日は2人分を打ったので今日1日だけでも凄く上達できたと思います。僕が美麻にいたった3年間でこれだけのものが得られたので、田舎の祖父母の家に行った時に披露できたら良いなと思いました。本日はありがとうございました。

（9年 上妻遼介）

1月28日にそば打ち体験をやりました。自分は体験するのは今年で2回目で、去年と比べいくつかが進歩した事がありました。生地をこねるのは去年より大分ス

ムーズに出来るようになり、切る場面では一定の細さで切ることが出来ました。来年のそば打ちでは今年よりもすばらしくなるように努めたいです。

（8年 江津瑞樹）

今日初めてそば打ち体験をしました。見ているときは簡単そうだなあと考えていたけど、実際やってみると一部厚かったり破れてしまったりしてしまいました。伸ばしてうすくした後、切るのが大変でした。太いのや細いのが出てしまったけど、最後まで切れたので良かったです。ゆでて食べてみたら、ちぎれてしまったりしたけど、とてもおいしかったです。美麻はそばが有名なので、今日体験できたことや自分で作ったそばが食べられてうれしかったです。

（7年 齊藤亜美）

第4回美麻小中学校市民科講演会

北アルプス唐松岳に生きて（1月20日）

今回は北アルプス唐松岳山荘支配人であり信州登山案内人の中川恵市さんから北アルプスの魅力や厳しい自然を生きる雷鳥の様子、山小屋を維持するための苦労や工夫などについて映像をまじえて

お話いただきました。同じ山でも見る角度によって違った表情を見せるように人に対していろいろな方面から見て判断することが大切であるというお話が印象に残りました。



お話を聞いて思ったこと

稜線に咲くコマクサがすごくきれいでした。こんなに寒い所なのにちゃんと育てているんだと思うと自分も頑張らなきゃ！！と思いました。雷鳥の子供がすごくかわいかったです。しかも6～7時間で自分のエサを探してちゃんと食べていてえらいなと思いました。

昭和37年より前はすごく重い荷物を持って2600Mぐらいの山を登るなんてびっくりしました。水も大切に使っているんだなあと思いました。屋根があんなにもすごいことになってしまうなんていつも大変な思いをしているのだなあと思いました。しかも色々な工夫をしているんだなあと思いました。

（8年 関口珠緒）

ブロッケン現象は自分を中心に虹色になってすごいなあと思った。雷鳥が来ると初めて知った。雷鳥は産まれて7時間くらい経つと自分たちでエサをとりに行くのがすごいと思った。自分たちが山へ登るときはゴミを落とさないようにしたい。天敵から身を守るために声を出して音を聞いて逃げて隠れたりする行動がすごいと思った。雷鳥はとても成長が早いなあと思った。昔はヘリコプターではなく

自分で歩いて食べ物などを持ってきていたから大変だなあと思った。自分が山に行った時にもらった水はとても貴重だったんだなあとあらためて実感したし、ありがたいことなので感謝したいです。山のお仕事はとても大変だなあと思った。自然のすばらしさを感じられたらいいと思った。未知なる世界へ足を踏み入れる！！自分もやってみたい。

（8年 川田涼葉）

2014メンドシーノ 姉妹都市交流事業

今年は、1992年（平成4年）から隔年で相互交流が始まってから12回目の訪問となります。

期間は、5月16日（金）～23日（金）までの8日間の訪問を計画しています。



1月30日事前学習会風景

<訪問に向けての準備等>

- ◆1月30日（木）ボランティアネットワークによる学習①
- ◆2月25日（火）ボランティアネットワークによる学習②
- ◆2月5日（水）源流美麻太鼓の会の皆様のご指導により訪問時の演奏に向けた練習が始まりました。
- ◆2月18日（水）保護者への交流説明会開催

インフルエンザにご注意

◇インフルエンザとは


インフルエンザウイルスによって引き起こされる急性感染症の一種で、流行性感冒、略して流感（りゅうかん）ともいいます。

◇なぜ流行するの？

最新の研究によると、インフルエンザウイルスは絶対湿度が低いときに存続しやすく、人から人へも感染しやすいことが明らかになりました。

インフルエンザ予防

1. 感染経路を絶つ
 - ★人ごみを避ける
 - ★外出時はマスクを着用
 - ★うがい・手洗い
 - ★湿度を60%に保つ
2. 罹ってしまったら
 - ★速やかに医療機関へ
 - ★移さない・広げない
 - ★咳エチケット マスク着用
3. 免疫力をつける
 - ★規則正しい生活
 - ★予防接種



◇美麻診療所からのお願い

～38℃以上の熱のある方や

インフルエンザの疑いがある方へ～

美麻診療所では高齢者の方々が、利用されている施設が併設されています。患者様は車で待機し、付き添いの方が入場してその旨をお伝えください。

ご本人のみの来院の場合は電話でご連絡ください。

美麻診療所 Tel0261-29-2015

定住促進住宅入居者募集

市では、市営住宅とは違い、定住を目的とした住宅を整備するため現在、二重湯の海団地の修繕工事を行っており、市内外から入居者の募集を行います。

【湯の海団地 施設情報】

敷地面積：約250m²(約75 坪)

延床面積：60.04m²(18 坪)

建築設備：LDK(8.5 畳)、洋室(4.5 畳)、和室(6 畳)、合併浄化槽(5 人槽)、ユニットバス、キッチン、暖房便座トイレほか

入居までの流れ

◇募集戸数：2戸

◇募集期間

3月17日(月)～3月25日(火)

◇入居決定

4月15日(火) ※選考委員会により、入居者の決定を行います。

◇入居手続き日時

4月15日(火)～4月24日(木)

◇入居の時期

入居可能日：5月1日から30日以内

※なお、入居について条件がありますので詳しくは産業建設係までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

大町市美麻支所 産業建設係 29-2311

